

上野「文化の杜」新構想について

『上野公園の回遊性とポテンシャル』

上野「文化の杜」新構想推進会議報告書,展開版 (2019,9,6)



出典：東京藝術大学

上野文化の杜新構想実行委員会 北郷 悟



(c)google

上野の杜

東京オリンピック 2020
日本の旗を世界に

芸術文化都市構想

21世紀の「文化立国日本」を世界に発信する

世界最高水準の文化拠点形成

芸術文化資産の国際的活用

3000万人を迎える国際遊学都市

上野・谷根千・本郷・秋葉原・神保町の基点

日本有数の文化資源の宝庫、「上野の杜」の潜在能力を強化、
多種多様な芸術文化機関の連携、豊かな自然環境の醸成と
価値ある芸術文化資産をひろく発信する革新的基盤整備により
国際遊学都市として大きな経済的波及効果につなげる



21世紀の「文化立国日本」を世界に発信する「上野の杜 芸術文化都市構想」

「上野の杜」のポテンシャル

- 日本屈指の文化施設が集結
東京藝術大学 [大学美術館・奏楽堂、(仮称)国際芸術図書館 IRCA 計画]、
東京国立博物館、国立科学博物館、国立西洋美術館、恩賜上野動物園、東京都美術館、
東京文化会館、国際子ども図書館、上野の森美術館など
- 新東京国際空港からの国際色豊かな玄関口
- 人々から親しまれる歴史と自然豊かな景観とその歴史 (不忍池、桜並木など)
- 災害避難時の重要拠点の強化



巨大からのアフライ

- 国、都、区、民間の垣根を越えた各施設の連携への参加と推進
- 周辺地域とのつながりと文化施設の利活用による芸術資産価値の向上
- 中核となる施設「芸術における知の拠点 [国際芸術図書館]」の新設
- 文化資源活用のスペシャリストの養成 (アーキビスト、アートマネジメント)
- 公園環境 (アクセス・周遊ルート・景観・地下開発等) の整備への協力
- 情報ポータルサイトの構築による芸術情報の発信の積極的推進

既存法等の最適化

- 総合的な規制の最適化により再開発の際の空間の質の向上をはかる
- 教育研究向上のためのオープンな芸術資産データベース構築
- 芸術文化施設、教育研究施設の弾力的活動の促進
- このエリアを活性化させるための法整備等
 - 研究者・クリエイターへの活動支援
 - 芸術文化に関わる施設や団体が行う活動をサポートする施策
 - 観光に資する既存宿泊施設等を盛り立てる施策
 - ジャパンオリジナルを守り次世代へ引き継ぐための施策 他

期待される効果

上野の杜を国際的な魅力をもった芸術文化拠点に再編し、上野の杜から広がる地域に
特区としての様々な施策を行うことで、民間活力 (商業施設や宿泊施設等の進出) による
観光開発と市場の形成を促すとともに、首都東京を海外からより多くの人が訪れて賑わう
国際遊学都市として活性化させる効果が期待できる。



上野「文化の杜」新構想

～2020年オリンピック・パラリンピック東京大会 日本の顔を世界に～

第1章 現状と課題 世界最高水準の文化芸術都市へ(新構想コンセプト)

- 1.上野「文化の杜」の歴史
- 2.上野「文化の杜」の総合的な整備・発信の必要性
- 3.世界最高水準の文化芸術都市と安全・安心な街へ

第2章 文化芸術資源の活用に向けた取組みの推進

- 1.魅力あるイベント等の共同実施
- 2.グローバル化を先導するための「効果的な広報戦略の展開」
- 3.国立西洋美術館の世界遺産登録の推進
- 4.安全・安心で入場、観覧できるための「バリアフリー化の推進と利用促進」
- 5.上野「文化の杜」を担うための「職員の資質向上と高度専門人材育成(連携型)」
- 6.上野「文化の杜」新構想の実現可能性を広げるための「文化芸術特区の可能性」

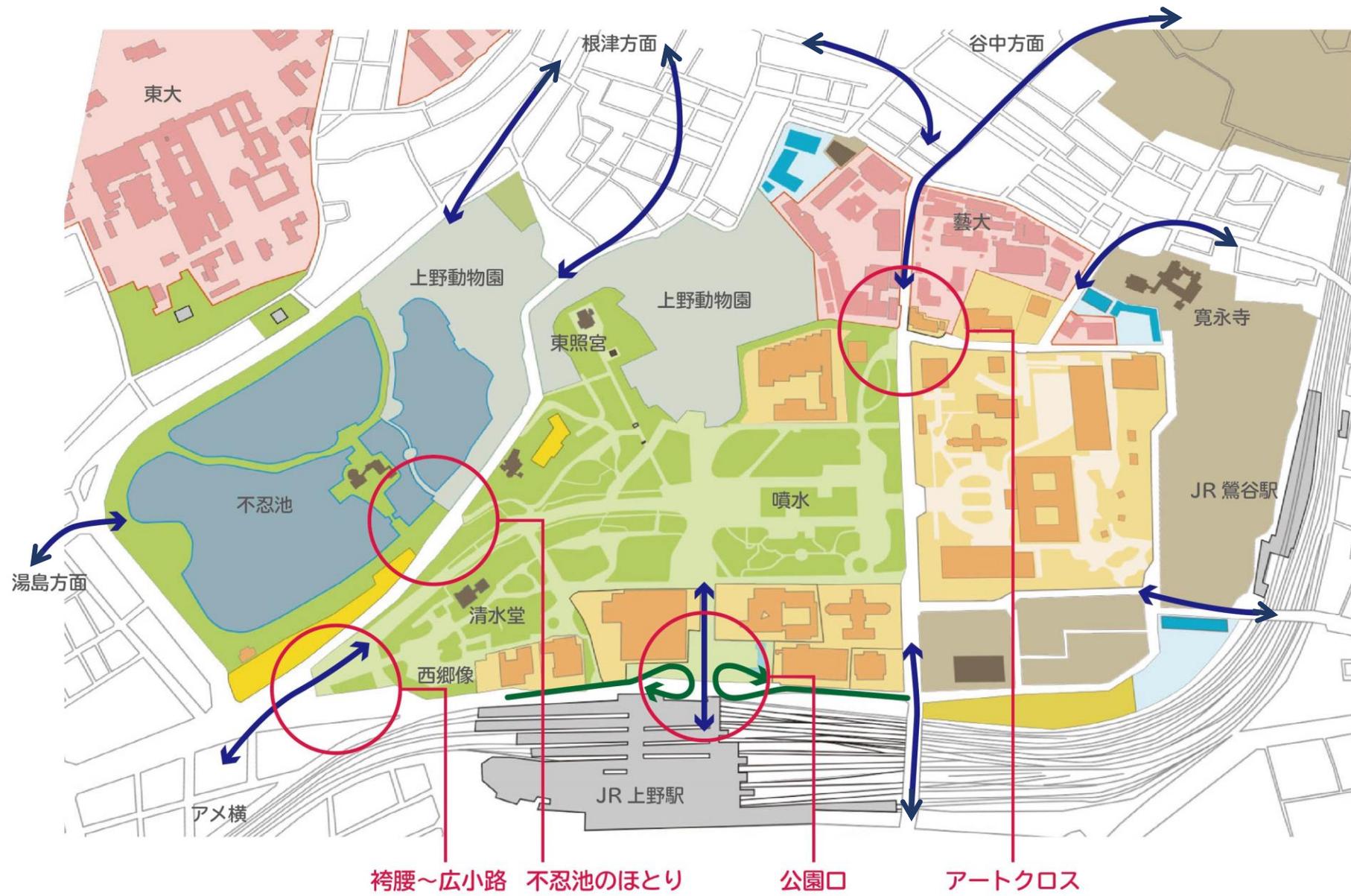
上野「文化の杜」新構想

～2020年オリンピック・パラリンピック東京大会 日本の顔を世界に～

第3章 国際文化交流の拠点と新たな賑わいづくりに向けた基盤整備

1. 快適なアクセスの確保
2. 展示スペースや共同利用施設の整備
3. 安全性の確保と地域防災に貢献するための「防災拠点等の整備」
4. 上野全体のまちづくりを活性化するための「エリア・マネジメントの推進およびアートクロススの整備等

第4章 新構想の実現に向けて



1. アートクロスと周辺の環境デザイン

谷中、根津、鶯谷からの公園口としてのインフォメーション機能
街と公園をつなぐ（人と車・防災、避難）

2. JR上野駅公園口周辺のリニューアルと周辺環境

3. 上野公園袴腰広場と不忍池のポテンシャル

4. 街と公園全体をつなぐアクセシビリティ機能の充実

1. アートクロスと周辺の環境デザイン

- ・ 東京藝術大学IRCA（ヘッジ計画と開かれた門）
- ・ 旧京成博動駅の新しい発信拠点として
- ・ 黒田記念館と上島珈琲店・アートプラザ
- ・ 旧東京音楽学校奏楽堂

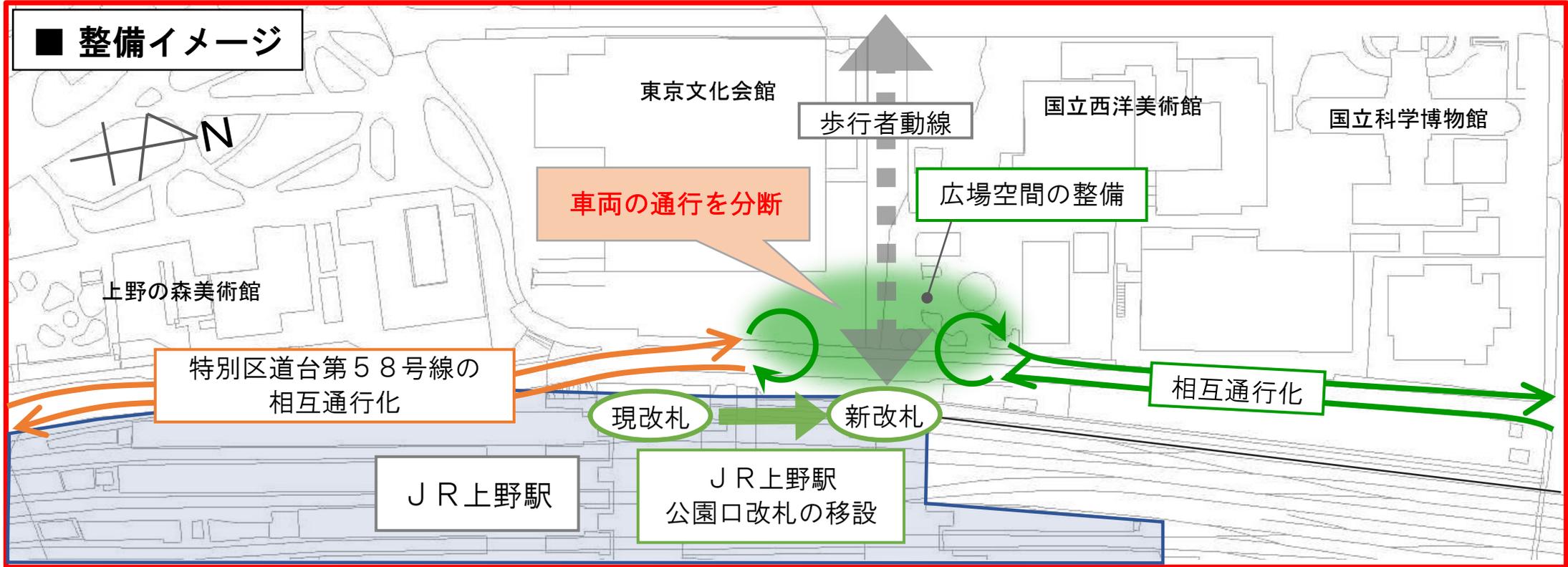
- ・ 6号トイレ（旧奏楽堂横）の解体と周辺環境の整備
インフォメーション機能等
- ・ 芸術の散歩道（芸術的5号トイレ（噴水横）改修含む）の全体計画
- ・ 都道452号線（補助92号線）と谷中・根津へのアクセス
- ・ 防災拠点としての入口整備





2. JR上野駅公園口周辺のリニューアルと周辺環境

- 公園口広場のあり方
- アナウンスボードの重要性（多言語化）
- 情報発信拠点機能（インフォメーションセンター）
- アクセシビリティ環境の整備
- 団体客の滞留場所の確保









文化会館前アナウンスボード



公園口前広場

3. 上野公園袴腰広場と不忍池の魅力



寛永寺全体図

出典：国立国会図書館蔵「東都名所上野東叡山全圖」



寛永寺文殊楼

出典：国立国会図書館蔵「江戸八景上野の晩鐘」

海が広がっていた。

「岬」



1998-2005年



(c)google, 今昔マップ on the web



出典：今昔マップ on the web
カシミール3Dスーパー地形
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て
同院発行の基盤地図情報を使用した。(平30情使 第941号)
スーパー地形 Ver.3.3.1

3. 上野公園袴腰広場と不忍池のポテンシャル

スクランブル交差点としての機能拡大

「みはしスクランブルクロッシング（仮）」

まちと杜をつなぐ袴腰「正面性」の確立

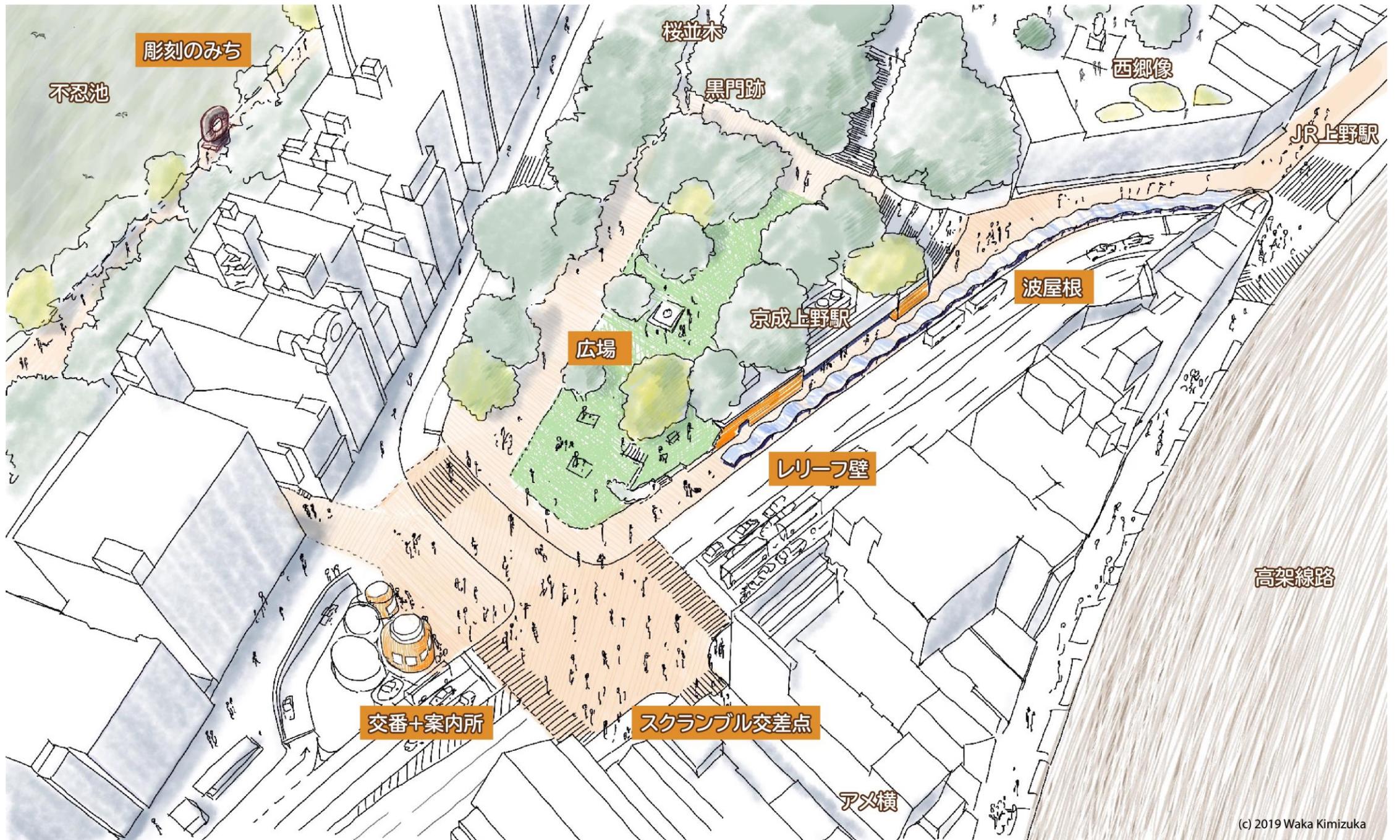
防災拠点としての入口整備

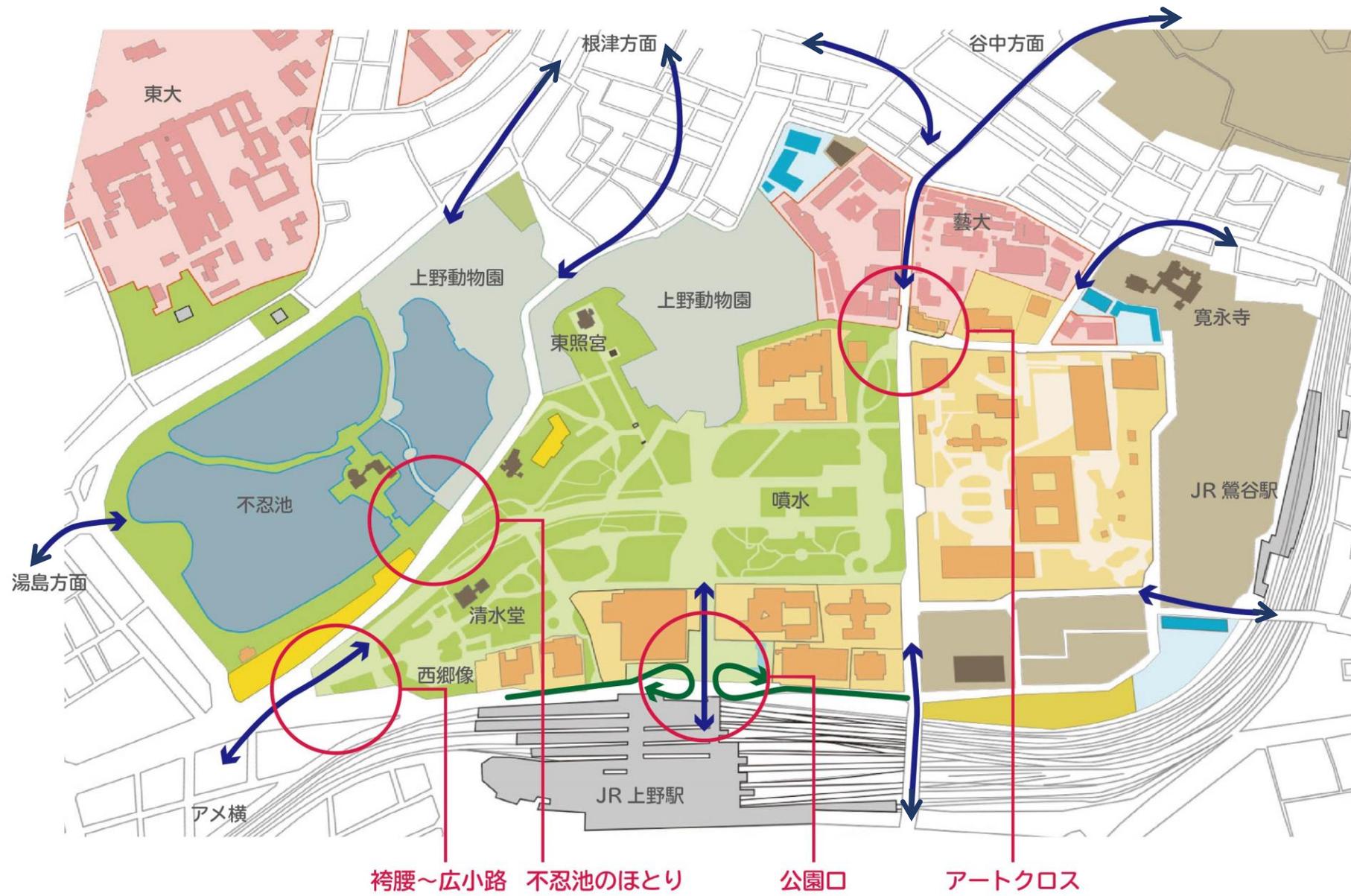
京成上野駅の魅力拡大

（上野は文化ゾーンミュージアム駅）

不忍池周辺の魅力開発

Café & インフォメーションセンターの設置







上野文化の杜を重点的に整備することにより
日本の文化を世界に発信